

75th Generation Special Mention
 第75回ベルリン国際映画祭
 ジェネレーションKplus部門
 特別表彰
 瀬戸内国際芸術祭2025正式参加
 文部科学省選定 高等学校生徒向き

海辺へ行く道

うみべへ
いくみち

人生は予測できない魔法で溢れている

子供たちの小さな冒険と大人たちの秘密と嘘。
 優しさこころモアに満ちた、アートのフルコメディ。



原田琥之佑

麻生久美子 高良健吾 唐田えりか 剛力彩芽 菅原小春
 蒼井旬 中須翔真 山崎七海 新津ちせ 諏訪敦彦 村上淳 高宮官九郎 坂井真紀

監督・脚本：横濱聡子 原作：三好銀『海辺へ行く道』シリーズ全3巻(ビームコミックス/KADOKAWA刊)
 音楽：荘子it エンドソング：“La chanson de Yoko” 作詞：横濱聡子・荘子it / 作曲：荘子it / 歌：ヨコ

企画・プロデュース：和田大輔 プロデューサー：中野朝子、城内政芳 撮影：月永雄太 美術：塚本周作 照明：後閑健太 装飾：神さくら
 録音：岩丸 恒 衣裳：飯野麻矢 ヘアメイク：藤田久美子 編集：大川京子 音響効果：渋谷圭介 キャスティング：伊藤尚哉 制作担当：菅井俊哉 助監督：岡部哲也
 アーティスト協力：ART FRONT GALLERY、瀬戸内国際芸術祭実行委員会、特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク、こえび隊、東京国立近代美術館、YY ARTS、Art and Reason Ltd.
 協賛：ビーブルソフトウェア株式会社 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
 企画：ジェンコ、東京テアトル 企画協力：KADOKAWA 制作プロダクション：東京テアトル 制作協力：ザファール 配給：東京テアトル ヨアケ

©2025映画『海辺へ行く道』製作委員会
 2025年 | 日本 | スタンダードサイズ | 5.1ch | 140分 |

「ウルトラミラクルラブストーリー」「俳優 竜岡拓次」「いとみちの」
横濱聡子監督最新作!

8.29

第75回ベルリン国際映画祭ジェネレーションKplus部門特別表彰。

日本最大級の芸術祭・瀬戸内国際芸術祭2025正式参加。

15歳の新星・原田琥之佑主演で描く、横浜聡子監督待望の最新作!

果てなき想像力が軽やかに混沌を超えてゆく、アートフルコメディ! 人生は予測できない魔法で溢れている。

『ジャーマン+雨』『ウルトラミラクルラブストーリー』『俳優 亀岡拓次』『いとみち』でその度ごとに話題を巻き起こして来た監督・横浜聡子が、知る人ぞ知る孤高の天才漫画家・三好銀の最高傑作と名高い『海辺へ行く道』シリーズをまさかの映画化。約800人のオーディションを経て主役を射止めた原田琥之佑が、ものづくりに夢中の主人公・奏介役を、軽やかな身体性でのびのびと演じている。そして、奏介と暮らす親戚の寿美子役に麻生久美子、包丁売りの男・高岡役に高良健吾、高岡の恋人・ヨーコ役に唐田えりか、街の不動産屋・理沙子役に剛力彩芽、東京からアーティストの借金回収に来たメグ役に菅原小春、謎の美術商・A氏役に諏訪敦彦、街にやって来たアーティスト・ケン役に村上淳、海岸でランチ販売をする静香役に坂井真紀、静香の常連客・五郎役に宮藤官九郎などが出演。クセの強い登場人物たちを豊かな個性で鮮やかに彩る。そんな大人たちに加え、美術部の奏介の先輩・テルオ役に蒼井旬、後輩・立花役に中須翔真、新聞部の平井役に山崎七海、テルオの妹役に新津ちせなど、実力派の若手俳優たちも見事集結。あやしげな大人たちが行き交う街で、自由奔放にイマジネーションを膨らげていく子供たちを生き生きと演じている。

さらに、様々なシーンから熱烈な支持を受ける至高のラップトリオ Dos Monos のフロントマン 荘子 it が、初の映画音楽を担当。ラストに流れるエンドソングは、荘子 it が横浜監督と詞を共作した比類なきオリジナルソングとして鮮烈な印象を残す。予期せぬ出来事と出会う人生の幸福を、陽気なユーモアと想像力で描く、永久不滅のマスターピース爆誕!



STORY

アーティスト移住支援をうたら、とある海辺の街。
 のんきに暮らす14歳の美術部員・奏介と後輩の立花は、夏休みにもかかわらず、演劇部に頼まれた絵を描いたり新聞部・平井の取材を手伝ったりと毎日忙しい。先輩のテルオは海辺に建てた自分のアトリエで何やら忙しそうだ。街にはあやしげな“アーティスト”たちがウロウロ。そんな中、奏介たちにちょっと不思議な依頼が次々に飛び込んでくる。長いサンバイザー、江戸の人魚、静か踊り、カナリア笛、野獣、穴…。この街は今日も何かがちょっとヘン。ものづくりに夢中な子供たちと秘密だらけの大人たち。果てなき想像力が乱反射する海辺で、すべての登場人物が愛おしく、優しさとユーモアに満ちた、ちょっとおかしい人生讃歌。



8.29 ROADSHOW

